

# ホストドライカーペットクリーニングシステム提案書

## ① カーペットの汚れの発生源

1. 靴により持ち込まれる汚れ・・・90%
2. 大気中の埃、排気ガス、空気中の汚れ・・・10%

※汚れ全体の85%は乾性の汚れであり、バキューミングで除去する事ができます。残りの15%は油性の汚れで、定期的なクリーニング作業でなければ除去する事ができません。

※汚れが集中する場所は全体の25～30%しかありません。ですから、通常は汚れた部分のみクリーニングすれば良いのです。なおかつ、全体的に美観度レベルの維持ができるのがホストシステムです。

## ② 汚れの進行

・靴によって持ち込まれた汚れは、歩行の際の踏み込みによって、カーペット表面からパイルの奥深くへと押し込まれ、次第に汚れが蓄積していきます。

カーペットの特性として、自重の約2倍の汚れを蓄積してもまだ隠してしまいます。そして、汚れが蓄積しきれずに、表面に出てきたときに初めて人の目に付き、収納しきれなかった新たな汚れは人の進行方向のまだ汚れていないパイルの中へと移行していく。

この様に、汚れは奥へ奥へと運ばれて、その面積は広がって目に見える「ケモノミチ」となっていきます。

※パイルが汚れを収納しきれず、目に見えるくらい表面に出てくる頃には、すでに遅いのです。

## ③ ホストシステムの特長

- ・使用されるスポンジは、環境にも優しく安全
- ・修復クリーニング、メンテナンスクリーニングの両方を兼ねる
- ・パイルリフティング効果（カーペットのパイルを起毛させる事）もある
- ・再汚染を防ぐ
- ・カビ、バクテリア、アレルギーの回収効果
- ・ウィックバック現象を起こさない
- ・一連したシステムが、どんなシミや汚れにも対応している（別紙シミ除去作業一覧表を参照）
- ・水を使用しないため、パイルの縮みや剥がれの心配がない
- ・営業中の作業も可能
- ・洗剤（スポンジ）自体が酸性で、カーペットと同じなので、脱色をする心配が少ない